

わかつばき

wakatsubaki

5
2011
MAY
MATSYUAMA

Main Contents

■4月例会報告

新入会員目標55名達成するために

- 全国会員大会招致勉強会報告
- 2月入会新入会員紹介
- 出向者報告 他



第3エリア合同公式訪問例会
(4月5日 八幡浜)

JCI

松山JC4月例会
(4月19日 松山市総合コミュニティセンター)

2011
MATSUYAMA
JC

明るく元気に前向きに!!
住みなすものは 心なりけり

社団法人松山青年会議所
<http://www.matsuyama-jc.or.jp/>

理事長便り

Vol.3

第59代理事長 大野 剛嗣

今こそ、日本を一つにするための挑戦を

めつきり暖かくなり、暑さも感じられる季節になりました。皆さんは連休をどのように過ごされたでしょうか。ゆっくり休養された方や、逆にこの機会に仕事を片付けられた方、また、ニュースで見るように被災地のボランティアに行かれた方など、様々な過ごし方をされたかと思います。

震災が起きて一ヶ月がたちました。被災地から遠く離れた我々の住む地域でも、コンビニで乾電池や水が完売したり、原発事故の影響で節電を意識するようになつたりなど、いろいろな変化がありました。この一ヶ月の間に、これまで当たり前のように生活ができ

ていた私たちの価値観が変わってしまったのです。

今こそ、被災された人たちやこの日本の未来のために、日本が一つにならなければならぬ時です。そのための労力を惜しむような人は、少なくとも我々青年会議所メンバーにはいなはずです。しかし、なぜかそれがうまく機能していないうに感じます。それは、この未曾有の非常時において誰も適切な判断ができるなくなつてしまっているから、そして明確な目標を持つて皆を束ねる人物、つまりリーダーが存在しないからだと思います。

だからこそ今、地域で活躍

する人材を輩出する組織でもある青年会議所の真価が問われています。このことを胸に、

我々にできることは何かをじっくりと考え、挑戦し続けていきましょう。



理事長活動報告

3月

- 3月1日(火) 第3回常任理事会
- 2日(水) お城まつり実行委員会 総会
春まつりお城まつり実行委員会
- 3日(木) シニアクラブ 全国大会誘致実行委員会
- 7日(月) 浜松JC 60周年記念式典
- 8日(火) 第3回理事会
- 9日(水) 第3回会員拡大実行委員会
- 14日(月) 第1回臨時常任理事会
- 15日(火) 第1回臨時理事会
- 16日(水) お城まつり実行委員会 臨時総会
- 17日(木) 第2エリア合同公式訪問例会
- 18日(金) わかつばきファンド 第59回運営委員会
- 26日(土) 愛媛ブロック協議会 第3回役員会議・会員会議所会議
- 27日(日) 日本JC 全国大会運営会議 第3回全体会議 オブザーブ
- 28日(月) 松山観光コンベンション協会講演会・意見交換会

4月

- 4月2日(土) 四国地区 第4回役員会議 オブザーブ
- 3日(日) 東日本大震災 街頭募金活動
- 4日(月) わかつばきファンド受給者証授与式 第4回常任理事会
- 5日(火) 第3エリア合同公式訪問例会 出席
- 8日(金) シニアクラブ 4月度例会 出席
- 12日(火) 第4回理事会
- 14日(木) 第4回会員拡大実行委員会
- 16日(土) 日本JC 第4回理事会 オブザーブ
- 18日(月) 全国会員大会 第1回検討会議
- 19日(火) 第2回新入会員面接会
- 4月度例会
- 23日(土) 日本JC 全国大会運営会議 北九州大会 現地調査会・対話集会 オブザーブ
- 24日(日) 日本JC 全国大会運営会議 第4回全体会議 オブザーブ
- 25日(月) 全国会員大会 第2回検討会議
- 26日(火) 松山JC 各会議・委員会 訪問 松山商工会議所青年部 総会 出席
- 28日(木) 全国会員大会出張主管セミナー

がんばろう

NIPPON

確かな一步を踏み出そう

JCI 

Junior Chamber International Japan



出向者報告

「東日本大震災」日本JC対策本部



被災者への長期にわたる支援が不可欠

公益社団法人日本青年会議所 副会頭 井川 直樹

東日本大震災の発災から二ヵ月余りが過ぎました。少しずつではありますが、復興に向けての兆しが見えてきています。しかし、東日本では相変わらず余震が続くとともに、解決の糸口がなかなか見えてこない原発事故の影響により、非常に困難な状況が継続しております。

震災発生から約一ヵ月半たった四月二十五、二十六日、宮城县の沿岸部で活動している青年会議所の理事長の皆さん（宮城ブロック協議会佐藤知樹会長、



どのボランティアセンターに行き届いている状況で、発災時に比べ避難所で生活している方たちも徐々に減ってきてることから、今後は継続的な災害ボランティア支援への移行を要望されました。災害ボランティア支援に関しては、各地のボランティアセンター（VC）を通して、引きの復興支援を中心として、引き続き避難所および周辺地域での炊き出し等の支援となります。やみ雲に支援するのではなく、自立につながるような支援が望まれています。

気仙沼JC藤田雄一郎理事長、石巻JC塙木好文理事長、塩釜JC鈴木貴賀理事長、あぶくまJC鉢建茂幸理事長）を激励のために訪問。現状の確認と今後の復興に向けての支援要望等をお話しさせていただきました。

そして、加えて強く要望されたのが、経済復興支援についてです。こちらについては、日本JCとして被災地の経済が循環するような取り組みを行ってまいりますので、日本JC災害支援特設サイトをぜひご確認いただき、皆さんのご協力をお願い

申し上げます。

さらに五月のGW明けには、

岩手県釜石市にて、北上JC主催のVCを通しての被災地民家に瓦礫撤去・清掃等を行う事業に参加しました。釜石市の沿岸部は、やっと車両の通行ができるようになつたくらいの状況で、解体作業ながらの支援作業となりました。GW明けからは災害ボランティア支援の人員も激減しているようで、復興に向けては一過性ではなく本当に息の長い支援が必要であると強く感じました。

また、日本JC第5回理事会、第4回ブロック会長会議は郡山で開催され、会議終了後に福島県の意見交換会を行いました。沿岸部以外の街は、震災による建物倒壊等の直接的な被害はほとんど受けておりませんが、原

発事故に伴う風評被害に苦しむ涙ながらの切実な訴えに、青年会議所としてもしっかりと取り組まなければならないと強く決意する機会となりました。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ということわざがあります。被災地以外では、自粛から復興に向けて各々が活力を出していくこという動きになつておりますが、今回の震災に対しては、被災地の現状把握と長期にわたる継続的な支援も決して忘れず、日々の各々の活動に取り組むべきであります。皆様の引き続きの真摯なご支援をお願いいたしまして、報告とさせていただきます。



わかつばきファンド授与式

諸先輩方の尽力で 三十年前に設立

四月四日(月)、松山市青少年センターハウスにて、松山市内の高校へ進学した交通遺児一名を対象に新たな受給者証授与式を執り行いました。授与式の最後には、ファンド受給修了者二名からの心温まるお礼の手紙をいただき、松山JC参加者一同、わかつばきファンドの意義を再度認識させられた一面もありました。

わかつばきファンドが始まつたきっかけは一九七二年。松山まつりにおける駐車場整理の謝礼金三万円の使途を協議し、当時社会問題となりつた交通遺児救済のための一助にすることとなりました。

その後、広く一般市民を対象とした募金活動に加え、趣旨に賛同された企業からの寄付やメンバーおよびシニア会員からの募金等、諸先輩方の活動の結果、一九七九年年末には一千万円に到達しました。



基金の管理形態、安全性、運動の継続性、公益的性格などから公益信託制度の採用を決定。一九八一年十二月二十八日に愛媛県教育委員会の認可を受け、「公益信託松山青年会議所 交通遺児等育英基金」(通称・わかつばきファンド)がスタートしました。

涉外広報委員会 委員長 山本 修平

日本JC
全国大会運営会議

北九州現地調査会報告

開催まで一年 レベルの高さを実感

北九州は、

来年度開かれ第六十一回 全国会員大会の開催地です。それに伴い全国大会運営会議(全運)が開催した、現地の準備確認と

対話集会にオブザーバー参加しました。



▲会場説明をする北九州JC永田康浩理事長(左から3番目)

現地調査は、大懇親会の会場となる小倉城の勝山公園広場から。現地で北九州メンバーから説明がありました。続いて、メインフォーラムやアワードの予定地になっている北九州ソレイユドームですが、さすがは競輪発祥の地である北九州、二万人の収容ができるようです。

スペースワールドの隣にある北九州イノベーションギャラリーでは、ウエルカムレセプションが予定されており、北九州ならではのエッセンスが各会場で見られました。開催まで一年を迎え、

▼大懇親会会場の勝山公園広場



▶対話集会

具体的な構築が進んでいるようです。現地調査に引き続いて対話集会の会場へ。九州内外から多くのメンバーが集まっていました。主催者代表として井川直樹副会頭のあいさつの後、北九州JCのプレゼンが始まりました。北九州大会の理念は「公の精神」です。緊張と気合いを感じられます。質問は理念から始まり、質問回答者は全運が指名する方式のようです。全運も資料をよく読んでおり、レベルの高さを感じました。北九州JCの対話集会も今回で五回目を迎える、経験豊富で成熟された感がありました。最後の議長総評では、資料の出来を含め、厳しくも温かいメッセージが熱く語られました。私たちちは成功を祈るだけではなく、積極的に参画して北九州大会を盛り上げていきたいと思います。

副理事長 三浦 秀之



全国会員大会招致勉強会報告

副理事長 帽子 大輔

開催後も市民のためになる大会を

四月二十八日(木)に開催さ

れました公益社団法人日本青年会議所全国会員大会主管セミナーには、多くのメンバーの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。また、OMの皆様もご参加ください、重ねて感謝申し上げます。

経緯をたどりますと、全国大会についての論議が上がってきたのが二〇〇六年ごろだったと思います。その時には、全国大会がどういうものかまだ認識不足で、「全国大会は手法であり、目的ではない」と言われても、実感が湧き合い、メンバー同士で議論を重ねる必要があります。



全国大会の大規模な目的として、三つの柱が考えられています。一つ目は、会員の運動意識を昂揚させるための大会（全国のJCメンバーのため

かない状況でした。近年は全

国大会運営会議にも継続して出向者を出し、全国大会を知る機会は増えてきました。た

だその経験者の卒業も多く、

入会三年未満の会員の割合も

増える中で、LOM内でも全

国大会についてより真剣に向



の大会）。二つ目は、開催地域を活性化させ、市民意識を変革するための大会（開催地域の市民のための大会）。そして三つ目は、世論を確実に動かし、社会にポジティブな変化を巻き起こすための大会（日本ため、国民のための大会）です。

全国大会に主管立候補するからには、その中でも「開催地域の市民のための大会」にならなければならないと、私は考えています。そして、開催四日間だけではなく、準備



から開催後も市民のためになる大会でなければ開催する意味はありません。私たちは先に行われた総会において、主管立候補をすることを決議しました。こ

れはLOMだけでなく、ブロック、地区も巻き込んだ決議です。

だとすれば、私たちは全国大会により真剣に向



意味で市民のためになる大会を生み出さなければなりません。

今月から、七月に開催予定の全国大会の対話集会に向けた勉強会を開催いたします。

基本対象者は理事会構成メンバーですが、他のメンバーの皆様にも参加いただいて構いません。何より、この勉強会が対話集会のための勉強会で終わることなく、市民のための大会にするためにはどうに招致を勝ち取りましょう。



例会 4月「新入会員目標五十五名達成するため」

●とき／4月19日(火)
ところ／松山市総合「ミニユーティセンター

会員拡大実行委員会
副実行委員長 谷本 敦志



糸魚川JC 猪又直登君

一人でも多くのメンバーの協力を ●●●

四月十九日(火)、松山市総合コミニユーティセンターで四月例会「新入会員目標五十五名達成するため」を開催しました。当日は新入会員候補者の面接もあり、五月入会予定者にも多数、オブザーブで例会行事に参加していただきました。

第一部では、講師に糸魚川青年会議所の猪又直登直前理事長をお招きして、講演をし

ていただきました。糸魚川青年会議所は、昨年度の公益社員拡大率四十・六十五人部門

で全国第一位に輝いており、資料の完成度も素晴らしいものでした。途中では猪又講師が先輩に対する思いから涙する場面もあり、感動的な講演となりました。また、青年会議所が消滅することをイメージしてもらい、本当にそのような事態にならうとするのかを考えました。青年会議所メンバーオーにもシニアの先輩たちにも協力をいただけなけ

れば会員拡大は成功しないし、今後の青年会議所も成り立つていかないということを、強く教えられました。メンバー一人ひとりが自分を見つめ直す大変いい機会になつたと、確信しております。

第二部では、委員会別でメンバーによるロールプレイングを行いました。普段パンフレットを見る機会はあっても、それを使っての説明は会員拡

大委員会メンバーくらいしか行っていないため、どうしていいか分からずいろいろと質問も出ましたが、いい体験がきました。

第三部ではバズセッションを行い、さまざま意見が飛び交いました。その後、まつやま未来創造会議副議長の岡田和徳君と広報涉外委員会副委員長の富永良紀君に代表で発表してもらいました。松山青年会議所のメンバーにとって、会員拡大の重要性を知り、青年会議所における自分を見つめ直すことのできる貴重な経験になりました。

最後に、公益社団法人日本青年会議所副会頭の井川直樹君に総括をいただきまして、



四月十九日(火)、松山市総合コミニユーティセンターで四月例会「新入会員目標五十五名達成するため」を開催しました。当日は新入会員候補者の面接もあり、五月入会予定者にも多数、オブザーブで例会行事に参加していただきました。



第一部では、講師に糸魚川青年会議所の猪又直登直前理事長をお招きして、講演をし

ていただきました。糸魚川青年会議所は、昨年度の公益社員拡大率四十・六十五人部門で全国第一位に輝いており、資料の完成度も素晴らしいものでした。途中では猪又講師が先輩に対する思いから涙する場面もあり、感動的な講演となりました。また、青年会議所が消滅することをイメージしてもらい、本当にそのような事態にならうとするのかを考えました。青年会議

所メンバーオーにもシニアの先輩たちにも協力をいただけなけ

れば会員拡大は成功しないし、今後の青年会議所も成り立つていかないということを、強く教えられました。メンバー一人ひとりが自分を見つめ直す大変いい機会になつたと、確信しております。



例会室 人づくり委員会



じょうこう
上甲 盛一
せいいち

1979年11月27日生
(株)S'chatz Japan
代表取締役

自然豊かな宇和島で生まれ育ち、人の豊かな松山で車輌販売業を開業して五年。ここ松山は、私の人生において特別な存在となりました。そんな松山の発展に少しでも貢献できるよう、入会させていただきました。よろしくご指導のほど、お願いいたします。



たかの
高野 剛
つよし

1978年5月18日生
サントリービア&スピリッツ(株)
営業担当

松山に住む者として、「自分の住む街」の活性化を望むのが当然の心境だと思います。その「心」を「カタチ」にできるのが松山JCだと思い、入会しました。先輩方のお話を拝聴し、人脈を築き、人として成長できればと思います。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。



みやわき
宮脇 清彦
きよひこ

1976年11月15日生
(有)ケイムス
取締役

仕事もプライベートも「愛だろ、愛!」の精神で貫いています。巨人原監督の「ジャイアンツ愛」の情熱にも大変影響を受けています。JC活動を通じて知り合える仲間や地域に「LOVE注入」していくよう、自分自身、修練していくます。どうぞよろしくお願いいたします。

総務渉外室 総務委員会



たかさき
高崎 信義
のぶよし

1976年4月15日生
(株)みずほ銀行
課長代理

JC活動を通じ、松山を愛する諸先輩方から多くのことを学ぶ中で、自身の成長を勝ち取り、皆様と意義あるJC活動を行ってまいりたいと考えております。甚だ力不足ですが、ご指導のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



やまだ
山田 晃介
こうすけ

1981年4月11日生
東京海上日動火災保険(株)
営業担当

九州から松山に来て十年。今の私があるのは松山のおかげです。「大好きな松山のために何ができるか?」と考えた時に、JC活動を通して恩返しをするとともに自分自身を成長させていきたいと思いました。甘えることなく一生懸命頑張っていきますので、皆様、よろしくお願ひします。

松山JC
新入会員紹介

未来室 まつやま未来創造会議



おかだ
岡田 秀昭
ひであき

1978年3月11日生
(株)KIDMAN
専務

初めまして。まつやま未来創造会議の岡田秀昭と申します。「為せば成る為さねば成らぬ何事も」。自分に何ができるのか、何を成すべきなのかを探し、男磨きをしていきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほど、お願ひいたします。



ちょう
曹
ちゃんど
昌徳
昌徳

1980年1月3日生
(株)コスモ企画
専務

松山で生まれ育った在日コリアン三世です。空港通をメインに、パチンコ・B・B、道後さや天然温泉ゆらら、愛媛ダストをグループ企業で経営しております。JC活動を通じて大勢の方と出会い、多くのことを学び、自分自身の糧にしたいと思い入会しました。よろしくお願ひします。

例会室 道しるべ委員会



こばやし
小林 徳孝
のりたか

1978年7月16日生
コマツ(株)

神奈川県出身ですが、松山JCに入会できたことに感謝しております。ここで多くの方々と出会い、親睦を深めたいと思っております。松山JCの熱心な理念行動に心を打たれ、私も少しでも人のお役に立てたらと思つておりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひします。



ちょう
曹
みよんと
明徳
明徳

1983年11月11日生
(有)プラボー
社長室室長

在日コリアン三世の曹明徳です。松山JCへの入会を果たせたことを光榮に思います。まだ全ての局面において勉強中の身ですが、JC活動とともに成長していきたいと思っております。皆様のご指導の程、よろしくお願ひいたします。

総務渉外室 渉外広報委員会



あべ
阿部 恭輔
きょうすけ

1978年2月9日生
(有)バイクハウス阿部
業務・総務次長

昨年JCへと誘われた頃、自分自身このままでいいのか、変わらなければと悩んでいました。ちょうどその時にこのお話をいただき、チャンスと思い入会しました。JC活動を通じ、少しでも地域に貢献し自らも大きく成長できればと思つております。

**目指せ
55人達成！**

2月入会の10人が
熱い豊富を語る！

わんぱく相撲まつやま場所

とき 6月12日(日)

ところ 愛媛県総合運動公園 相撲場



毎年行っています「わんぱく相撲まつやま場所」も、これまでに多くのわんぱく力士たちが巣立ち、多方面で活躍していると聞いています。しかし一方では、「むかつくから」「お金が欲しかったから」という軽い動機での青少年犯罪が多発し、その内容も凶悪化、低年齢化しているのが現状です。

では、なぜ子供たちはそのような事件を起こすのでしょうか。当実行委員会では、現実と向き合わず、対人関係の構築を苦手とする子供が増加し、「あいさつができない」「ありがとうが言えない」という礼儀と感謝の心が希薄な時代となつたからだという答えを出しました。しかし、私

たち青年会議所が目指している「明るい豊かなまちづくり」の実現のためには、未来を担う青少年の育成は欠かせません。そこで、本年度は「礼儀」と「感謝の心」をクローズアップし、場所内で講習会を行

講習会と低学年の個人戦を開催



うことにしました。
また、本場所では従来行っていた団体戦を廃止。出場選手の裾野を広げるためにも、低学年（小学一～三年生）の個人戦を開催いたします。多くの子供たちが参加し、自分



わんぱく相撲実行委員会
実行委員長 神野 能成

の目標を持つことで、大きく成長できる大会を開催していきたいと思っています。三月十一日に発生しました東日本大震災の被害により、地方場所が開催されず、大会に参加できない「わんぱく力士」も多くいると聞きました。その子供たちのためにも、このまつやま場所を成功させたいと思っております。六月十二日(日)は、「わんぱく相撲まつやま場所」に皆様のお力添えの程、よろしくお願ひいたします。

6月例会案内

「思いやり」について共に考える

公開例会第2弾となります6月公開例会は、「思いやり」について考えます。皆さんは「思いやり」をどのように受け止められているでしょうか。

中国の思想家・孔子は、論語の中で「子貢問いて曰く、『一言にしてもって終身これを行なうべきものありや』、子曰く、『それ恕か。己の欲せざるところ、人に施すなかれ』」と思いやり（恕）が人間にとって一番重要な徳目であると説いております。また、19世紀を代表するロシアの作家・ドストエフスキイも「思いやりこそは最も重要な、そしておそらくは全人類の唯一の生活の規範なのだ」と言っています。古今東西、「思いやり」は普遍的な価値観と考えられているのです。

私たちは、日ごろ信用できる人かどうかを見極める際、自然と「思いやり」がある人かどうかに判断基準を置いているような気がします。また、東日本大震災において、人間は決して一人では生きていけないものであり、人と人とを結ぶ絆を構築するものは「思いやり」でしかないことが衆知の事実となっています。そして、そうした日本人の姿を世界中が賞賛したのです。

6月例会は、来場者の皆様と共にセミナー形式で「思いやり」について考えていくたいと思います。ぜひご参加ください。よろしくお願ひいたします。

日 時／6月21日（火）
18:30～

場 所／松山市総合コミュニティ
センター 大会議室

道するべ委員会 委員長
和泉 北斗



講師 池田 実氏

一人ひとりの幸せについて考え方

出向者報告

愛媛JCC関係委員会
日本JCC関係委員会

副委員長 西野 完

五月八日（日）、松山市の男女共同参画センターにて、日本国憲法について考える「憲法タウンミーティングin愛媛」を開催しました。

講師として、日本大学法学部の池田実教授を東京からお招きし、「私たちの未来と憲法」をテーマに講演を行いました。東日本大震災において、被災者一人ひとりが冷静な行動をしたことを海外が高く評価している一方、危機対処能力の欠如した政府の対応については「世界の不信感を招いている」と指摘。憲法に災害や戦争の発生を想定した国家非常事態対処条項がないことを問題視して、「非常に行政府に一時的に権力を集中

すれば、迅速・柔軟な対処が可能になる」と話しました。また、日本本の平和主義をうたう憲法九条の文言について、あいまいで複数の解釈ができるため、将来見直す必要があると指摘しました。

憲法の歴史や問題についてとても分かりやすく説明いただき、憲法に関する知識や興味がない方も十分に理解できた、あつという時間の九十分でした。当日はゴールデンウイークの最終日、また母の日にもかかわらず、百五十名ものJCメンバーや市民にお集まりいたきました。本当にありがとうございました。



 <p>地下1,000mより湧きだす天然温泉をたっぷり湛えたお風呂いろいろ。お好きな湯舟にゆったりと体を浸して、心ほどける入浴タイムをどうぞ。</p> <h2>媛彦温泉</h2> <p>〒790-0913 愛媛県松山市畠寺3丁目4番5号 TEL 089-960-1441 URL http://www.himehiko.co.jp</p>	 <h2>マルマストリク</h2> <p>リフォーム&太陽光発電 クネット(手すり)</p> <p>松山本社 松山市問屋町3番6号 TEL 089-922-2121(代表) 今治本社 宇和島・大洲・西条・四国中央・多度津/営業所 http://www.marumasstric.co.jp/</p>	 <h2>株式会社 ハート交通</h2> <p>真心の運転 貸し切りバスのご用命は… ☎(089) 911-8810 〒791-8001 愛媛県松山市平田町311-1</p> <p>『白い旅人』のお供になります。 全国どこへでも、プランに合わせてご相談に応じます。グループでの旅行や巡礼・冠婚葬祭や各種イベントにご満足いただけます</p>
 <p>大理石・庭石・エクステリア・タイル M·G·Mストーン株式会社</p> <p>お墓・靈園・墓地・お墓のリフォームのことなら お墓の斎院</p> <p>〒791-8031 愛媛県松山市北斎院町58-1 [MGMストーン お墓のさや] 検索</p>	<p>おかげさまで百周年、支えられて一世紀。</p> <p>総合建設業 明治43年創業 留 株式会社 門屋組 てるひこ 代表取締役社長 門屋 光彦</p>	 <h2>オールドイングランド</h2> <h2>道後山の手ホテル</h2> <p>松山市道後鷲谷町1-13 TEL 089-998-2111 www.dogo-yamanote.com</p> <p>シングル(1泊朝食付)9,600円／ツイン(1泊朝食付)9,600円 ※ツインルーム2名様ご利用時の1名様料金※休前日2,100円UP</p>
<p>HARUNA tsubaki hotaru</p> <h2>maru group</h2> <p>mominoki goshiki By the Way maru yasaka 松山市二番町2丁目3-3 motsunabe maru TEL 089-913-0806</p>	 <p>リポートなら任せ!! 株式会社 ビケン 0120-06-3138</p> <p>〒790-0041 愛媛県松山市保免上1丁目17-2 TEL: 089-947-3138 FAX: 089-947-5098 URL: http://biken-ehime.co.jp</p>	<p>京染呉服 きもの処</p> <h2>嵯峨野屋</h2> <p>〒790-0054 松山市空港通り1丁目6-28 TEL 089-968-6555 0120-14-8835 http://home.netcruise.jp/hitosi/</p>
<p>文豪たちの愛したゴルフ場</p>  <p>奥道後ゴルフクラブ プレー料がお得になる 『メモリアル友の会』会員募集中！</p> <p>〒799-2424 愛媛県松山市八反地乙102 TEL 089-993-3311 FAX 089-993-0576 http://www.okudogo.co.jp/golf</p>	 <p>想いをカタチに…</p> <h2>株式会社 松山建装社</h2> <p>(089) 941-5221(代) 松山市三番町7丁目1-7 URL http://www.kensosya.co.jp E-mail info@kensosya.co.jp</p>	<p>~地域の文化を大切にする~</p> <h2>清酒 桜うづまき</h2> <p>桜うづまき酒造株式会社 松山市八反地甲71 ☎ 089-992-1011</p>
<h2>元気が1番!</h2> <p>地域に愛され、社会に貢献</p> <h2>APP/印刷</h2> <p>〒790-0932 松山市東石井一丁目10-30 TEL 089-956-2442 FAX 089-956-2180 E-mail:amanop@poppy.ocn.ne.jp</p>	<p>一石に託す家族の絆一 営業品目：墓地・墓石・石材一般</p> <h2>豊野中石材工業</h2> <p>松山市平井町甲2549番地2 TEL(089)975-3075 FAX(089)975-8392 http://www.ishigoro.co.jp</p>	<p>これからは「かしこく」つなげる</p> <h2>MOBILE COM.</h2> <p>smart network service & support</p> <p>NTTドコモ一次代理店・NTT西日本販売代理店 www.mobilecom.co.jp</p>
<p>人にやさしく、環境にやさしく</p>  <p>廃棄物の総合処理</p> <h2>松山容器株式会社</h2> <p>〒791-8042 愛媛県松山市南吉田町2145番地1 TEL 089-971-5403 FAX 089-973-1517 http://www.matsuyama-youki.jp/</p>	 <p>WORKS</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業VP制作 ●CM制作 ●イベント映像制作 ●各種デザイン <p>有限公司 ミツクシヨ・グラムル 〒790-0003 愛媛県松山市三番町7-2-9 1F TEL: 089-907-2556 FAX: 089-907-2557</p>	<p>住宅/店舗 設計・施工・リフォーム</p>  <h2>株式会社 マツモト</h2> <p>〒791-8042 松山市南吉田町2189-1 TEL 089-972-6090 FAX 089-972-6091</p>
 <p>空調・給排水衛生設備・設計施工</p> <h2>北四国工芸(株)</h2> <p>松山市星岡一丁目11番20号 TEL. 089(956)2171</p> <p>関連子会社：(株)愛媛設備管理センター</p>	<p>不動産のことならお任せ下さい！</p> <p>～賃貸・売買・物件管理・土地活用～</p> <h2>Sanpuku</h2> <h3>三福社宅サービスカンパニー</h3> <p>〒790-0012 松山市湊町5丁目5-5 TEL/089-915-2232 FAX/089-913-0329 URL/http://www.3puku.co.jp</p>	<p>まちをきれいに。 ビルをきれいに。 人をきれいに。</p> <p>あ、きれい。 総合ビル管理・廃棄物処理</p> <h2>株式会社 西村商事</h2> <p>〒790-0003 愛媛県松山市三番町1丁目11番地3 TEL (089) 946-4222 FAX (089) 946-4233 URL: http://www.nisimura-syoji.co.jp</p>

さすがにこの年は全国会員大会
一色だつたようで、一月号の最後
のページには「昨年とはフォーマ
ットが少しかわりました。今年度
はJJC内部の連絡の強化を中心
に編集を考えています」という一言
が添えられており、内容のほとん
どが大会のことでした。（個人的
には、他の年にあるようなJJCメ
ンバー家庭訪問や似顔絵コーナー
が見えたかった……）

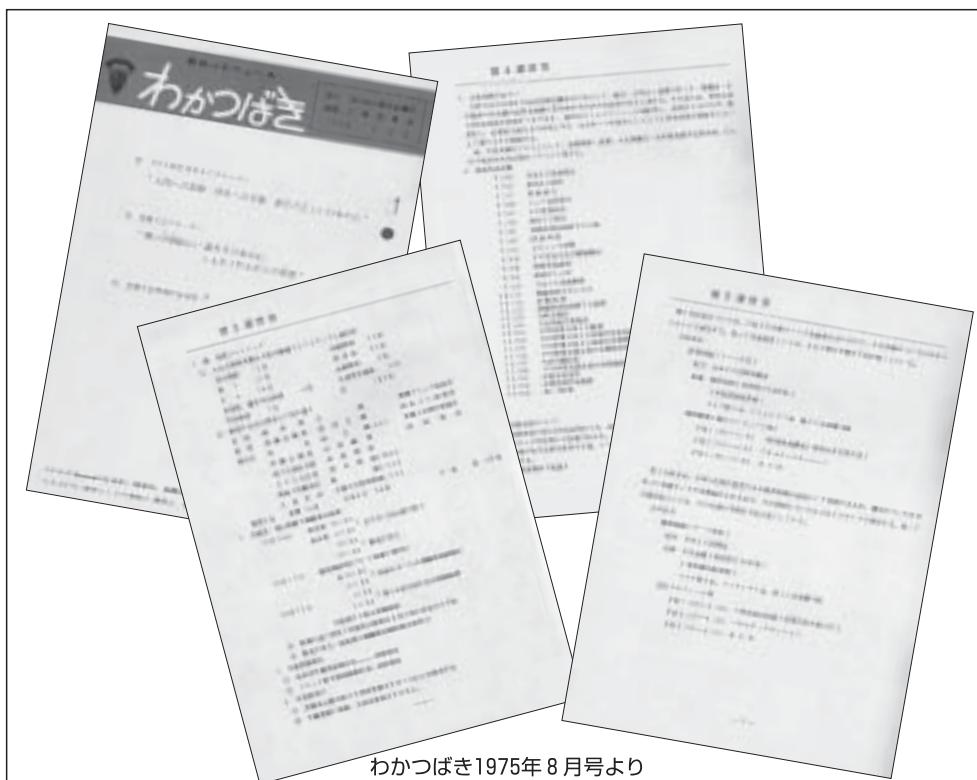
一九七五年の
『わかつばき』 より
今回のシニアクラブ便り
過去の『わかつばき』から
振り返ります。まずは一九
にタイムスリップ！ 一九
といえば……、そう！全国
会が松山で行われた年です

過去の『わかつばき』から当時を振り返ります。まずは一九七五年にタイムスリップ！ 一九七五年といえは……、そう！ 全国会員大会が松山で行われた年ですね。



なお、大会の成功を目指して、第一～第九運営室がそれぞれ役割（式典、懇親会、記念事業など）を持ち、大会各地PRキャラバン隊も運営室ごとで編成されていたようですが、『わかつばき』をは

じめいろいろな資料を見ると、太会への意気込みがヒシヒシと伝わってくる、そんな内容でした。今一度のシニア例会や創立記念パーティーで、当時の皆様にもお話を聞きするつもりでするので、面倒がらずにお付き合いいただけたらと思います。



じゃがいもクラブ

じやがいもクラブ会長 丸山 武

順位	氏名	OUT	IN	Gross	HDCP	NET
優勝	中村憲一	38	38	76	8	68
準優勝	江崎英夫	37	41	78	9	69
3	佐保元彦	39	41	80	9	71
4	藤堂幸司	39	44	83	12	71
5	上岡喜美夫	38	38	76	3	73
6	吉末修	42	38	80	7	73
7	門屋光彦	52	46	98	25	73
8	丸山武	45	44	89	14	75
9	菅野崇	40	47	87	12	75
10	曹昌徳	49	50	99	23	76
11	松浦吉隆	47	47	94	17	77
12	白石裕英	48	49	97	19	78
13	金子昌幸	52	57	109	30	79
14	武智光成	48	45	93	14	79
15	宮内謙彰	46	49	95	16	79
16	西村直樹	48	48	96	16	80
17	池田啓吾	45	48	93	12	81
18	小糸三千男	47	47	94	9	85
ドニベ次回	ラニアビグ	コンポン口H	中村中村中村(8⇒6)	上岡中村	武智吉末	上岡吉末
						(9⇒8)

ゴルフができる幸せをかみ縛めて

4月20日(水) ●エリエールゴルフクラブ松川



中村 憲一 先輩

4月20日(水)、エリエールゴルフクラブ松山におきまして、松山JCじゃがいもクラブ

4月例会が開催されました。東日本大震災後、初めて行われた例会でしたが、ゴルフができる幸せを感じながらのプレーとなりました。

今大会では
ドラコン・ニアピンそしてベス
グロと、全てを獲得した中村憲
一先輩が優勝されました。おめ
でとうございます。



生きる道標

平成23年5月17日(火)

開演: 18時30分~(開場: 18時00分)
会場: 松山市総合コミュニティセンター3階 大会議室
定員: 先着100名(要予約: チラシ裏面参考)

テーマ:「生きること」を考える

「医療法人聖愛会 松山ペテル病院 院長 中橋 恒先生
「愛媛がんサポートおれんじの会」理事長 松本 陽子様をお招きして、
「生きること」についてお話を頂きます。自分の生き方、見つめてみませんか?
詳しくはチラシ裏面へどうぞ

平成23年6月21日(火)

開演: 18時30分~(開場: 18時00分)
会場: 松山市総合コミュニティセンター3階 大会議室
定員: 先着100名(要予約: チラシ裏面参考)

テーマ:「思いやり」を考える

今、日本で一番求められている「心」人間の普遍的・基本的な倫理観
共に「思いやり」を考えてみませんか? 詳しくはチラシ裏面へどうぞ

平成23年10月18日(火)(仮)

テーマ:「リーダー」を考える 詳細は後日公開いたします

「しっかりと地に足の着いた心構えを身に付ける、それがこの底はかとない世の中、不確実な人生でも一步一步前進できる道標」
社団法人松山青年会議所が毎月行っている「例会」を本年3回公開いたします。共に「生きる道標」を見つけてみませんか?

お問い合わせ・お申し込み **JCI** 社団法人 松山青年会議所
〒790-0067 愛媛県松山市大手町2丁目5-7 松山商工会館4F TEL.(089) 941-0194
ホームページ <http://www.matsuyama-jc.or.jp> [松山JC] [検索]

人生をしつかりと歩むための
「生きる道標」の構築を考えます。



	 TOSHO 東昇技建株式会社 〒791-1112 松山市南高井町1939-5 TEL: 089-970-6814 FAX: 089-970-6815 <ul style="list-style-type: none"> ● 地盤調査 / スウェーデン式サウンディング試験・ボーリング調査 ● 地盤改良 / 柱状改良・表層改良・鋼管杭による改良 ● 地盤保証 / GIR THE LAND
<p>ハイブリッドフォークリフト <i>「GENEO HYBRID」誕生</i></p> <p>トヨタL&F西四国株式会社 http://www.lf-w-shikoku.jp</p> <p>本社 〒791-8057 松山市大可賀3丁目150-20 TEL : 089-967-6555 FAX : 089-967-6444</p>	<p>やさしさを包む。資源循環型社会へ…</p> <p>e-package http://www.e-package.co.jp</p> <p>愛媛パッケージ株式会社 〒790-0045 愛媛県松山市余戸中6丁目6-5 TEL (089)973-2021 FAX (089)971-6211</p>